ゆりぐみだより　３月

平成２８年　３月　１１日
社会福祉法人　尚徳福祉会　松が丘保育園

昨日は就学祝い会、大きくなったねの会にご参加いただきありがとうございました。子どもたちの凛とした姿に成長を感じた一日となりました。

保育園生活も残すところあと数週間。四月になると新しい環境での生活が始まります。就学を前に、慣れ親しんだ仲間や大人たちとの別れを感じたり、新しい生活への期待や不安を感じたり、子どもたちの心境の変化が予想されます。こういう時こそ、私たちはいつも通りに子どもたちを迎え、毎日を楽しく過ごしていきたいと思っています。

保護者の皆様も年度末でお忙しいことと存じます。朝の様子、帰宅後のちょっとした時間、お風呂や食事の時間、眠る前の時間、休日の様子など、日々のお子様の姿から何か変化を感じましたら、保育園にお知らせくださいね。

ゆり組は週明けの月曜日に引っ越しをし、その後は多目的室で過ごすことになります。子どもたちには、「みんなが小学校に行くように、他のクラスは一つ大きなクラスになるんだよ」と伝えています。みんな引っ越しを楽しみにしているようなので、一年間使ったゆり組の部屋をきれいにし、新しい部屋で残りの数週間を楽しく過ごしていきたいと思います。

３月の行事予定

１７日(木)　お別れ遠足
（３・４・５歳児合同・落合公園）
※詳細、後日配布します。
２４日(木)　親子ドッジボール
２５日(金)　避難訓練

お別れ遠足について

１７日（木）に落合公園に行きます。
登園は８：４５、出発は９：００を予定しています。当日はお弁当の用意をお願い致します。

スイミーができるまで

スイミーの絵本と並行して読んでいた物語があります。子どもたちがそのお話と迷いに迷い、最終的には「みんなが知ってる話にしたい」という意見が多かったスイミーに決めました。

自分がやってみたい役を出しあい、「決め方はどうする？」と尋ねると「自分たちで話したい」とのこと。「ナレーターはすらすら読める人にお願いしたい」「仲良しの子と同じ役をやりたい」など、意見を出して話していました。

私は、昨年の劇を見ていたので、「今年はたくさんセリフがあった方がいいかな？」など思っていたのですが、子どもたちが自分たちで考えたい、という気持ちを尊重して、様子をみることにしました。

結果、役決めはみんなの前でオーディションをして決め、セリフは絵本の中から探したり、自分で考えたりして決めていました。

短いセリフの中にも一人ひとりの気持ちが込められています。

大道具や小道具も子どもたちの意見が詰まっています。「僕はこんな風に作ってみたい」「こんな素材はある？」と大人と相談しながら作りました。

子どもたちが力を合わせて取り組んだ“ゆり組版スイミー”。子どもたちだけでなく、私の心にも残る素敵な作品に仕上がったと思います。

お楽しみいただけましたか？笑